



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社やまねメディカル 上場取引所 大
 コード番号 2144 URL <http://www.vemd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 秋田 和美 (TEL) 03(5201)3995
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,321	2.1	137	△0.9	155	15.4	77	15.2
22年3月期第1四半期	1,294	11.7	138	△31.0	134	△31.4	67	△37.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	707	32	—	—
22年3月期第1四半期	608	47	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年3月期第1四半期	3,327		1,200		36.1		10,917	39
22年3月期	3,490		1,238		35.5		11,245	33

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 1,200百万円 22年3月期 1,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	1,000	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	0	00	—	—	1,000	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年3月期の業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 (累計)	2,660	0.7	215	△24.8	250	△7.7	120	△13.9	1,091	84
通期	5,650	7.7	675	22.4	750	35.6	400	—	3,645	84

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	113,300株	22年3月期	113,300株
23年3月期1Q	3,366株	22年3月期	3,198株
23年3月期1Q	110,060株	22年3月期1Q	111,026株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 業績予想の1株当たり当期純利益については、第2四半期累計期間は予想期中平均株式数（109,906株）により算定し、通期は予想期中平均株式数（109,714株）により算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(3か月)におけるわが国経済は、生産・輸出の緩やかな増勢、企業収益の改善など景気持ち直しの傾向が持続いたしましたものの、雇用情勢の厳しき、欧州及びアメリカを中心とする海外景気の下振れ懸念に加え、金融資本市場の変動やデフレの影響など、景気の下押しリスクを抱える状況のもとに推移いたしました。一方、介護業界におきましては、高齢社会の進行に伴う介護ニーズの増大を背景として、介護市場の着実な成長の基調が持続いたしました。

このような状況のもと、当社は介護保険法の基本精神に立脚して、介護を要する高齢者の「尊厳の保持」と「自立支援」を重視しつつ、真に心の通う介護サービスの提供により、ご利用者及びご家族のご満足とご安心をさらに増進することを通じて、介護サービスの商品としての品質向上を図ることに注力いたしました。また、前年度の東京都による行政処分の影響を払拭すべく、さらなる営業力の強化と生産性の向上に努めました。

この間、平成22年5月に東京都豊島区にデイサービスセンター(以下「DS」といいます)なごやか池袋を、6月に東京都世田谷区にDSなごやか三軒茶屋をそれぞれ開設いたしました。このように、当第1四半期中に2施設を開設いたしました結果、当第1四半期末において80箇所の直営DSを展開しております。

フランチャイズ事業においては、当第1四半期末において3箇所のフランチャイズによるDSを展開しております。

以上の結果、当第1四半期会計期間における営業収入は1,321,638千円(前年同期比2.1%増)、営業利益137,073千円(前年同期比0.9%減)、経常利益155,788千円(前年同期比15.4%増)、四半期純利益は77,847千円(前年同期比15.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期における資産合計は、3,327,010千円(前年同期比15.8%増)となりました。資産の内訳につきましては、流動資産が1,717,448千円(前年同期比25.2%増)、固定資産が1,609,562千円(前年同期比7.2%増)であります。また、負債合計は、2,126,818千円(前年同期比35.7%増)となりました。負債の内訳につきましては、流動負債が1,352,148千円(前年同期比7.4%減)、固定負債が774,669千円(前年同期比619.4%増)であります。純資産合計は、1,200,192千円(前年同期比8.0%減)であり、主として前事業年度の利益剰余金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、485,014千円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、145,837千円(前年同期は38,636千円の使用)となりました。

これは主に、その他の流動資産の増加23,484千円(前年同期比29,908千円減)、売上債権の増加16,117千円(前年同期比479千円減)、介護報酬の返還による支払額58,178千円等により資金が減少しましたが、税引前四半期純利益が136,050千円(前年同期比16,041千円増)の計上となり、その他の流動負債の増加39,126千円(前年同期比38,252千円減)、現金の支出を伴わない費用である減価償却費の計上29,168千円(前年同期比2,565千円増)、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額の計上19,494千円等による資金の増加要因があった結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、55,263千円(前年同期比43,308千円減)となりました。

これは主に、通所介護事業のための新規施設の開設による有形固定資産の取得による支出35,949千円(前年同期比58,538千円減)、敷金の差入による支出9,864千円(前年同期比9,669千円増)等の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、405,491千円(前年同期は203,641千円の獲得)となりました。

これは主に、短期借入金の減少260,000千円(前年同期は374,999千円の増加)、長期借入金の返済による支出25,912千円(前年同期比23,394千円減)、配当金の支払額110,102千円(前年同期比1,003千円減)等により資金が減少した結果によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、「平成22年3月期決算短信」にて発表いたしました平成22年5月7日付公表の業績予想から変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ1,304千円減少し、税引前四半期純利益が20,799千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は106,644千円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	485,014	799,931
営業未収入金	888,547	872,429
未収還付法人税等	54,265	54,265
その他	296,553	285,000
貸倒引当金	△6,932	△7,046
流動資産合計	1,717,448	2,004,580
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,034,290	920,402
その他(純額)	116,286	129,985
有形固定資産合計	1,150,577	1,050,388
無形固定資産	8,755	6,133
投資その他の資産		
敷金及び保証金	386,694	376,970
その他	63,535	52,091
投資その他の資産合計	450,229	429,061
固定資産合計	1,609,562	1,485,583
資産合計	3,327,010	3,490,163
負債の部		
流動負債		
短期借入金	440,000	700,000
1年内償還予定の社債	117,400	117,400
1年内返済予定の長期借入金	58,734	72,319
未払金	525,725	567,785
未払法人税等	55,892	4,637
賞与引当金	67,309	51,911
その他	87,087	57,165
流動負債合計	1,352,148	1,571,219
固定負債		
社債	572,600	572,600
長期借入金	37,091	49,418
資産除去債務	109,393	—
その他	55,585	58,793
固定負債合計	774,669	680,811
負債合計	2,126,818	2,252,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	304,375	304,375
資本剰余金	254,375	254,375
利益剰余金	752,006	784,260
自己株式	△110,563	△104,877
株主資本合計	1,200,192	1,238,133
純資産合計	1,200,192	1,238,133
負債純資産合計	3,327,010	3,490,163

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業収入	1,294,494	1,321,638
営業原価	1,023,976	1,047,040
営業総利益	270,517	274,597
販売費及び一般管理費	132,195	137,524
営業利益	138,321	137,073
営業外収益		
受取利息	—	1
受取手数料	292	116
処遇改善交付金	—	24,404
雑収入	94	246
営業外収益合計	387	24,769
営業外費用		
支払利息	3,638	4,622
雑損失	101	1,432
営業外費用合計	3,740	6,054
経常利益	134,968	155,788
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	114
特別利益合計	—	114
特別損失		
固定資産除却損	135	274
損害賠償金	100	82
減損損失	14,723	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	19,494
特別損失合計	14,959	19,851
税引前四半期純利益	120,009	136,050
法人税、住民税及び事業税	60,500	55,500
法人税等調整額	△8,046	2,703
法人税等合計	52,453	58,203
四半期純利益	67,555	77,847

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	120,009	136,050
減価償却費	26,603	29,168
長期前払費用償却額	3,692	3,847
減損損失	14,723	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	474	△114
賞与引当金の増減額(△は減少)	35,938	15,397
受取利息	—	△1
支払利息	3,638	4,622
支払保証料	—	949
有形固定資産除却損	135	274
損害賠償損失	100	82
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	19,494
売上債権の増減額(△は増加)	△16,596	△16,117
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,812	—
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△53,393	△23,484
その他の流動負債の増減額(△は減少)	77,378	39,126
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△158	1,259
小計	191,732	210,556
利息の受取額	—	1
利息の支払額	△4,982	△2,809
返還金の支払額	—	△58,178
損害賠償金の支払額	△100	△82
法人税等の支払額	△225,286	△3,650
営業活動によるキャッシュ・フロー	△38,636	145,837
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△94,487	△35,949
無形固定資産の取得による支出	△3,900	△2,180
敷金の差入による支出	△194	△9,864
敷金の回収による収入	109	140
長期前払費用の取得による支出	△100	△7,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,572	△55,263
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	374,999	△260,000
長期借入金の返済による支出	△49,306	△25,912
リース債務の返済による支出	△2,824	△3,791
自己株式の取得による支出	△8,122	△5,686
配当金の支払額	△111,105	△110,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	203,641	△405,491
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	66,432	△314,917
現金及び現金同等物の期首残高	234,340	799,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	300,773	485,014

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。